



人と環境に優しい中央区を目指して

2018. 1月 第12号

新しい年が始まりました。今年は戌年。

戌という字には、刈り取ったものを一まとめにするという意味があるそうです。

年末には、「沢山の収穫がある年だった」と振り返れるよう頑張ります。

本年も宜しくお願い致します。

ご報告 その1

「第14回子どもとためす環境まつり」に参加しました

■日時:2017年9月23日

■会場:中央区立有馬小学校

「子どもとためす環境まつり」は、中央区環境保全ネットワークが主催する催しです。私たちの会では設立した年から参加しています。

当日は、中央区環境推進課と共同で、来場者に「中央区の森」の間伐材を使ったキーホルダー作りを体験してもらいました。「中央区の森」のパンフレットやチラシ、すごろくなども配り、区民の方に「中央区の森」の事を紹介しました。

後日の反省会では、「「中央区の森」は自由に入れるのか?」「「中央区の森」ツアーがあったら行ってみたい」などのお声をいただきました。自由に行けることをお伝えし、ツアーについての希望などについて伺いました。

今後も積極的にイベントに参加し、参加者と対話することで認知度を高めたいと思います。



ご報告 その2

「日本橋地域ルネッサンス 100 年計画委員会」様の
ツアーガイドをしました

■日時:2017年10月26日

日本橋の老舗や企業の方々が集まり、街の活性化のために活動をしている“日本橋地域ルネッサンス 100 年計画委員会”が、研修旅行として檜原村を訪問しました。

森の応援団では、行程表の作成や現地の手配の他、行きのバス車中で檜原村の簡単な紹介を行いました。

役場では、杉の香るトイレを拝借することで間伐材が有効活用されている事を体感したり、檜原の名水で入れるコーヒーを味わったりしました。

中央区の森では炭焼き小屋まで登り、その後、間伐作業の見学をしました。山道が体調に触ることを心配される方には数馬の湯での入浴をお勧めしました。

昼食は、かんづくり荘で山の幸を堪能しました。名産のこんにゃくのほか、この時期にしか採れないクリタケや、しし鍋、鹿の刺身など檜原ならではの食材に皆さま満足のご様子でした。

食後は、こんにゃくの井上食品さんの工場を見学して伝統製法の説明に耳を傾けた後、払沢の滝を見て檜原村を後にしました。

紅葉には未だ間がありましたが、晴天に恵まれ、目と舌で檜原村の良さを感じた一日になったようです。



ご報告 その3 東京おもちゃ美術館を見学

■日時:2017年11月21日

私たちの活動目標の一つに、『木材の利活用』があります。現在はプランターカバーの作成を行っていますが、それ以外にも何かできないかと、アンテナを広げていたところ、おもちゃ美術館の存在を知りました。当日は、副館長から設立の趣旨や活動理念をお聞きし、館内を見学させていただきました。木のおもちゃを使って楽しそうに遊ぶ親子の姿が印象的でした。



ご報告 その4 中央区環境保全ネットワークの 日帰り研修に参加しました

■日時:2017年11月7日

中央区環境保全ネットワークの会員団体でもあることから、有志で日帰り研修に参加しました。

行き先は、水素の学習施設および供給ステーション、中央区が設立した商業施設“築地魚河岸”、食品廃棄物の処理施設でした。私たちの団体の活動目標と直接の関係は無い場所でしたが、今後の活動の幅をひろげられるよう交流を深めてきました。

中央区の森より

中央区の森もすっかり雪景色になりました。大羽山の山頂の美しさもご覧ください。今年は十数年ぶりに払沢の滝も全面氷結したとか。この寒さの中、木々も耐えて春には又芽吹きを迎えるのでしょう。



写真は NPO 里山再生塾山寄事務局長さんより寄せられました。

●編集後記●

今年のお正月も、親子孫3代で年末に作ったおせちを食べることができました。しかし、私たちが口にする食材は、地球温暖化の影響を受けて取れる場所や量が変化していると聞きます。

森を守ることは地球温暖化防止の一つの方法ですが、都市部に暮らしているとその事に忘れがち。

私たちは、区民の方々に気付いていただけるよう様々な機会を通じて発信していこうと思います。

今年もどうぞ宜しくお願いします。

発行:NPO 中央区森の応援団 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-5-5

TEL.03-3666-0930

FAX.03-6231-0936

Mail. k.nakajima@chuo-m.net

ホームページ <http://chuokumori.org/index.html>